

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	シャント造設術における伝達麻酔の寄与に関する比較検討
研究責任者	聖隷浜松病院麻酔科 日比野 世光
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院麻酔科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023年 12月 31日
対象者	2020年1月から2023年12月までの間に聖隷浜松病院でシャント増設術を伝達麻酔で管理した患者様。
研究の意義・目的	シャント増設術において、術野が上腕・腋窩に及ぶ場合や術野が広範囲になる可能性がある場合、患者の疼痛が強いことが予想されるが全身状態が悪く全身麻酔を避けたい場合などに、心臓血管外科より依頼があり、伝達麻酔を行っている。伝達麻酔を行うと交感神経も遮断され、それに伴い術野の動静脈が拡張してくると考えられる。シャント増設術はなるべく径が太い皮静脈に動脈を吻合する手技であり、伝達麻酔を施行することで術野の皮静脈が拡張するのであれば、伝達麻酔に鎮痛効果の他にシャント増設術を施行しやすくなる副次的効果が認められる可能性がある。そこで、当科で麻酔管理を行ったシャント増設術の伝達麻酔管理症例において、伝達麻酔前後の皮静脈血管径を測定し比較検討を行いたい。
研究の方法	【研究デザイン】 前向き観察研究 【方法】 対象患者について、伝達麻酔施行前後の術野の皮静脈径を超音波診断装置にて測定する。また、麻酔記録、診療録から以下の項目の調査を行う。 伝達麻酔の種類、局所麻酔薬の濃度・投与量、術野で用いた局所麻酔薬量、性別、年齢、身長、体重、血圧、出血量、麻酔時間、手術時間、鎮静度。 【統計・解析】 症例群の記述統計及び比較検討
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 日比野 世光 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日